



バイオマス
発電

みなさんの家庭で使う電気を
再生可能なエネルギーで発電しています。



サミット半田パワー株式会社

所在地／愛知県半田市川崎町四丁目1番地7 TEL.0569-47-8461 <https://www.summit-handa-power.co.jp/>
設立／2012年(平成24年) 社員数／29名(2023年3月現在)

私たちの仕事

私たちは衣浦港に接する川崎町で2017年の6月から木を細かく加工したチップやヤシ核殻(PKS:パーム油を搾った後の果実の種の殻)を直接燃やすことで15万世帯が使う量の電気を作るバイオマス発電所を運営しています。



発電所

バイオマス発電ってどんな仕組み?

地球環境にやさしい
電気なんだね

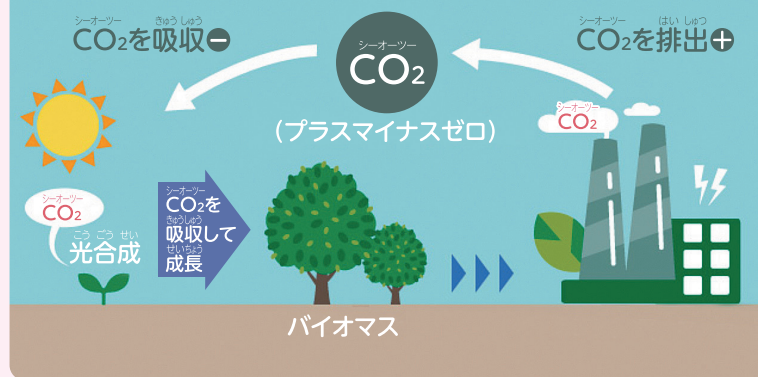
バイオマスとは、動物や植物などから生まれた資源のことです。石炭や石油などと違い、再生が可能であることから、太陽光と同じ再生可能エネルギーに分類されます。そして植物が吸収する二酸化炭素(CO₂)の量と、燃料として燃やした際に発生する二酸化炭素の量が同じであることから、これをカーボンニュートラルと呼び、バイオマス発電は脱炭素社会を実現する手段の一つとなっています。またバイオマス発電は、太陽光発電や風力発電のように天気や風に左右されることがなく、安定して電気を作ることが可能です。

主なバイオマス燃料



チップ
PKS
木を細かく加工したチップやヤシ殻などの地球環境に優しい燃料を使用します。

バイオマス発電の仕組み



? どんな設備が整えられているの?



ボイラーで燃料を燃やして作った蒸気を、タービンに当てて回転させることで発電機を回し電気を作ります。365日連続運転することもできますが、電気をたくさん必要とする真夏や真冬に、トラブルで発電所が止まることのないよう、毎年春に設備を止め、1カ月ほどの時間をかけて点検・整備を行い、「安全に動かし続ける」を合言葉に操業しています。



こんな活動もしているんだって!



植林活動

およそ1割の燃料に、国産のスギやヒノキの間伐材を使っており、愛知県設楽町の国有林に林業を営む協力会社と共に木を植えて育てる森林の保全活動にも取り組んでいます。
また、燃料の8~9割を輸入する衣浦港では燃料を管理する協力会社と、燃料が飛び散ることを防ぐ取り組みをするとともに、港の周りや燃料が通る道路の清掃などを行っています。

働く人の声



業務部
原価・購買グループ
江原 愛未さん

私は、燃料以外に発電所を動かすために必要なものを買いそろえる仕事をしています。電気を作るのに不可欠なものもあり、それらを切らすことなく用意することで、毎日電気をお届けできることにやりがいを感じています。



発電部
運転管理課
福岡 秀朗さん

私は、発電所の機械に異常がないか点検して回る仕事をしています。発電所は24時間動いているため、夜の11時から翌朝まで働くこともあります。機械に不具合が出た場合でも、無事動かし続けることができた時にはうれしさを感じます。